

園名	あそか保育園
日時	令和6年9月

1, 活動テーマ

<テーマ>

3歳児・・・音（様々な楽器の音を聞いたり、鳴らして遊んだりする。）

<テーマ設定理由>

・前回の活動の導入で楽器を使うと、とても興味を持っていたので、様々な楽器の音に触れたり、楽器を使って遊びたいと考えた。また、子ども達は様々な楽器の音を聞き分けることができるのかどうかという考えが浮かび、音当てクイズをして遊ぼうと思った。

2, 活動スケジュール

- ・音当てクイズをする。
- ・一人ひとりに鈴を渡し、好きなように音を鳴らして楽しむ。
- ・鈴の扱い方や持ち方、鳴らし方を知らせ、リズム打ちをする。

3, 活動のために準備した素材や道具、環境設定

- ・音当てクイズ（楽器を隠すためにパネルシアターの台を使用した）
- ・楽器（音当てクイズ用）鈴、カスタネット、タンバリン、マラカス、エッグシェイカー
- ・鈴人数分

4, 探究活動の実践

<活動内容>

- ・楽器（鈴、カスタネット、タンバリン、マラカス、エッグシェイカー）の音を子ども達に聴いてもらい、楽器の名前を紹介する。
- ・パネルシアターの裏で楽器を鳴らし、何の楽器の音かを当ててもらう。
- ・鈴を一人ひとりに渡す。振ったり体の様々な部位に当て鳴らしたりして遊ぶ。
- ・曲に合わせて、鈴をリズム良く鳴らしたり、間奏では踊りながら好きなように表現する。
- ・鈴の持ち方や鳴らし方を知らせる。
- ・保育士が鈴を鳴らすのを真似て、5回鳴らしたり、リズム打ちをしたりする。
- ・保育士の歌「どんぐりころころ」に合わせながら楽器を鳴らす。

<活動中の子どもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり>

<音当てクイズ>

担任：「何の音が聴こえてくるかな？」
「よく聴いててね」

担任：子ども達の反応を見ながら楽器を鳴らす。

子ども「カスタネット！」「すず！」などと分かった答えを言葉にしていた。

担任：手を叩いて音を鳴らす。

子ども「たいこ」と答える子どもが多かった。



<鈴を使って楽器遊び>

子ども「せんせい、みてー」と言って、耳の側に持っていきイヤリングやミッキーの耳などに見立てたり、顎や頭などに当てて音を鳴らしていた。

<曲に合わせて楽器を好きなように鳴らす>

担任：曲のリズムに合わせて、鈴を頭の上で振ったり、膝で鳴らしたりする。

子ども：保育士の動きを真似ていた。

・間奏では足を上げたり、腰を揺らしたり自由に表現していた。

<歌に合わせてリズム打ちをする。>

・担任が鈴を鳴らす様子をよく見ており、歌いながら楽器を鳴らすのは難しそうであった。



5, 振り返り

<振り返りによって得た保育士の気づき>

・鈴やタンバリン、カスタネットの音は答えられる子どもが多かったが、エッグシェイカーとマラカスなど、音が似ている楽器は難しいようであった。また、手を叩くと「太鼓の音だ」と答えており、紹介されていない音に関しては想像して答えるのを感じた。その後、鈴の扱い方を知らせ、好きなように鳴らして楽しんだ。「スズムシの声みたい」「セミの声だ」という子どもがおり、似ている音に例えていた。「どんぐりころころ」の歌に合わせて音を鳴らすと、それが楽しい子どもと自由に音を鳴らしたい子どもとそれぞれであった。合奏の経験が少ないこともあるかもしれないが、もう少し、音に親しむ遊びを楽しんでいきたいと感じた。